

精神科病棟における薬剤師介入の有益性に関する調査

一般社団法人日本病院薬剤師会 精神科病院委員会

※本調査の回答は、10月1日よりWEBにてご回答をお願いいたします。

ご施設や病棟の2023年9月1か月間または9月末時点の状況についてご回答ください。回答は1施設当たり1回まででお願いします。

本調査における「向精神薬」とは、以下の薬剤を指します。

- ① 抗精神病薬 ② 抗うつ薬 ③ 気分安定薬（抗てんかん薬としての症例は含まない）
④ 抗不安薬 ⑤ 睡眠薬 ⑥ 抗パーキンソン薬 ⑦ 認知症治療薬 ⑧ 精神刺激薬

本調査対象となる病棟は、以下のいずれかの入院基本料・特定入院料を算定している病棟といたします。調査項目中では「：」につづく略語表記とします。

- 精神科救急急性期医療（A311）：救急急性期
- 精神科急性期治療病棟（A311-2）：急性期
- 精神科救急・合併症（A311-3）：救急合併症
- 児童・思春期精神科（A311-4）：児童・思春期
- 精神療養病棟（A312）：精神療養
- 認知症治療病棟（A314）：認知症
- 精神（一般）病棟（A103）：精神（一般）
- 精神病棟（特定機能病院）（A104-3）：精神（特定）

1. 施設の概要

- (1) 病院名 _____
- (2) 回答者所属・氏名（所属）_____（氏名）_____
- (3) 回答者連絡先（E-mail）_____
- (4) 薬剤師数 _____人
- (5) 薬剤師の業務を補助する人員の数 _____人
（調剤補助や事務員等、薬剤師以外で薬剤部業務を行っている人員数）
- (6) 全病床数 _____
- (7) 精神科病棟数 _____
- (8) 精神科関係の認定薬剤師数（実数） _____
（日本病院薬剤師会精神科専門薬剤師、精神科薬物療法認定薬剤師、精神薬学会認定薬剤師、1名が重複して保有している場合は1名として計算）

2. 病棟調査

※以下の項目は精神科病棟ごとに回答

(1) 病棟区分 (1:救急急性期、2:急性期、3:救急合併症、4:児童・思春期、5:精神療養、6:認知症、7:精神 (一般)、8:精神 (特定)) _____ (プルダウンで選択)

(2) 病床数 (床) _____

(3) 病棟薬剤業務時間 (時間/月) _____
(延べ時間/月: 2名で10時間ずつ実施した場合は20時間と記載)

(4) 薬剤管理指導業務時間 (時間/月) _____
(延べ時間/月: 2名で10時間ずつ実施した場合は20時間と記載)

(5) 医療従事者からの相談件数 (件/月) (電話、口頭など手段は問わない) _____

(6) 病棟活動に由来した、向精神薬に関する処方提案等の件数 (疑義照会・持参薬管理・検査依頼等も含む) <以下の表「提案数」から自動計算>件

(7) 提案の内容と提案が採用された (処方・オーダー等に反映された) 件数

	①提案数	②採用件数
(a)治療効果の向上		
(b)副作用の軽減・回避		
(c)治療コストの軽減		
(d)その他		

(8) 病棟活動に由来した、向精神薬以外の薬剤に関する処方提案等の件数 (疑義照会・持参薬管理・検査依頼等も含む) <以下の表「提案数」から自動計算>件

(9) 提案の内容と提案が採用された (処方・オーダー等に反映された) 件数

	①提案数	②採用件数
(a)治療効果の向上		
(b)副作用の軽減・回避		
(c)治療コストの軽減		
(d)その他		

(10) 精神科病棟における医療従事者の負担軽減を目的とした取り組みや、他施設と共有したい有益な取り組みの有無を教えてください。

(a) プロトコルに基づく薬物治療管理 (PBPM) ○1:実施している ○2:実施していない

(b) 処方入力支援 (代行処方) ○1:実施している ○2:実施していない

(c) 薬剤師主導によるチーム医療の実施 ○1:実施している ○2:実施していない

(d) 薬剤管理指導サマリを用いた転院先病院・施設等や退院後のかかりつけ医・かかりつけ薬剤師等との情報共有 ○1:実施している (件/月) ○2:実施していない

(e) その他 (具体的な内容を記載:)